

## 会議録（要点記録）

第2回堺市美原区区民評議会							
開催日時	令和元年8月20日（火）午後3時00分～4時00分						
開催場所	美原区役所本館5階大会議室						
出席委員	堀内会長、田中副会長、江川委員、金田委員、北中委員、米谷委員、高城委員、武部委員、伯井委員、山田委員、吉村委員						
事務局職員	澤田区長、石田副区長、大野課長、今田参事、白川課長補佐、妻谷主幹、津田係長、新野副主査						
関係課職員	神楽所自治推進課長						
案件	1 令和元年度諮問事項について 2 専門部会の設置について						
傍聴者	3人						
配付資料	<table border="1"><tr><td>資料1</td><td>次第</td></tr><tr><td>資料2</td><td>諮問書（写し）</td></tr><tr><td>資料3</td><td>美原区区民評議会 交通問題専門部会委員構成案</td></tr></table>	資料1	次第	資料2	諮問書（写し）	資料3	美原区区民評議会 交通問題専門部会委員構成案
資料1	次第						
資料2	諮問書（写し）						
資料3	美原区区民評議会 交通問題専門部会委員構成案						

### 開会

《事務局が会議の成立を報告し、公開を確認》

### 諮問書の交付

《区長が堀内会長へ諮問書「美原区における魅力の再評価と発信について」を交付》

#### 案件1 令和元年度諮問事項について

○堀内会長 それでは議事を進行させていただきます。会長の堀内です。皆様には円滑で活発な議事の進行に御協力をお願いいたします。

ではまず案件1「令和元年度諮問事項」につきまして、先ほど区長から諮問書をいただきました。

資料1がその写しとなっております。

私たちはこの諮問書に基づきまして、調査・審議を行い、再来年2月をめどに答申を行います。

テーマは「美原区における魅力の再評価と発信について」となっております。

資料1の裏側に諮問内容があります。

では、これは事務局に読み上げていただきまして、その上で皆さんと内容を確認したいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

《事務局が「資料1 諮問書の写し」の裏側のページを朗読》

○堀内会長 ありがとうございます。何か御質問や御意見がありましたら、ぜひお願いいたします。

まず初めに一言、私のほうから申し上げたいのですが、特に観光ということが、これから重要になってくると思います。

観光を通したまちづくりというのは、例えば旅行代理店とかホテルとかが立案するものではなく、住民の方がいろいろな観点から自由に自分たちのまちの魅力を見つけていくものだと思います。

実際にこれまで生まれ、働かれてきた方々の率直な意見が大事だと思いますので、皆様方の御意見をぜひよろしく願いいたします。

多分こういうのは一番初めに言うのが難しいと思いますが、江川委員から、どうでしょう。観光ボランティアをされているということなので。

○江川委員 私は堺観光のお客さんをよく御案内しますが、古代から現代まで歴史遺産がそろい歴史が繋がっているというのは奈良と堺だけですとご説明します。

例えば東京では江戸時代からで、京都も平安時代から、古代から現代まで歴史遺産が残って、繋がっているというのは奈良と堺だけで、その堺の中でも実は美原なのですと、古墳時代の黒姫山の古墳から、河内鑄物師があつて、南北朝に楠木の戦いがあつてとか、いろいろな歴史が実は堺の中でも美原区が一番残っています。

そういう美原の歴史文化をまずは地元の美原区民の方、それから区民以外の堺の方に知っていただくというのが、一番の重要なポイントじゃないのかなと思います。そういう意味では、どう伝えるか、あるいは、どう発信するか、また何を発信するかをしっかりと検討し、良い方向性を詰めていけたらなと思います。

また、2025年というのは美原町生誕70周年であるとともに、美原区生誕20周年になるので、できたら2025年に向けて、美原区が全国に名前が広がり、観光客が訪れ、区民の方も活気あるまちづくりに参加していると思えるようなまちになれば良いと考えていますので、短期的なもの、長期的なものを取りまとめて方向性を考えていけたら良いのかなと思っています。以上です。

○堀内会長 ありがとうございます。今、江川委員から非常に多くの観点から、堺市美原区の歴史であるとか今後の時期について説明いただきましたが、それを踏まえてでも、また全然別の観点からでもかまいませんので御意見等がありましたらぜひお願いいたします。

○伯井委員　私は、美原区に生まれて42年間住んでいますが、まずは区民自身が魅力的だ  
と思うことがスタートではないかと思います。

区民自身が理解できていないまま、観光客が来てもあまり良い形にならないような気がする  
ので、まずは区民自身が魅力的なまちだと感じて、それが外に伝わるような順番が良いの  
かなと個人的に思いました。

もう一点が、高校生・大学生との連携ですが区内には太成学院大学さんがあります。

大学が美原区にあるから、何かできたという感覚は区民としてはあまりないので、お互  
い喜ぶような結果になれば良いのではということを経験的に感じました。以上です。

○堀内会長　ありがとうございます。今の御意見というのは、実際に住まれている中から感  
じられている非常に貴重な意見だと思います

美原区の良さというのがあると思いますが、住まわれている中での体験されていることと  
いうのは、皆さんそれぞれお考えあると思いますので、率直な御意見をいただきたいと思  
います。お願いします。

○高城委員　私は10年ほど前から自分が住んでいるまちをもっと知りたいと思い「美原  
未来・まちデザインひろば」に参加し、区内を歩いて回ったおかげで多くの旧所、名跡を知  
ることができました。

また先日、NHKの番組で黒姫山古墳を紹介していることを娘が連絡してきました。

娘が小学校低学年の時に古墳の資料館でペーパークラフト甲冑を作る講座に参加させたこ  
とを思い出し、娘自身もそうした思い出があるからこそ連絡してきたのだと感じています。

やはり、自分が生まれ育ったところに思いを寄せてもらうためにも、住んでいる私たち自  
身がもっと美原区の魅力を知り、まちを宣伝する必要があると思っています。

○堀内会長　ありがとうございます。せっかくですので武部委員どうですか。

○武部委員　私も「美原未来・まちデザインひろば」に参加させていただくようになって  
から、美原町の中のことをいろいろ発見もし、今まで知らなかったことも教えていただきま  
した。

自分の住んでいるところをもっと本当は知らなくてはいけないのに、余りにも知らなさ過  
ぎた自分自身が恥ずかしかったです。

百舌鳥・古市古墳群が世界遺産になり、周囲の人から質問される機会が増えるでしょうし、  
もっといろいろなことを知りたいという意欲がわいてきました。

美原に多くの人に来ていただいて、一緒にまちを歩かせていただいて、いろいろなことを勉強させていただきたいなと思っています。

美原は堺から奈良にかけての観光のちょうど通り道になるのでしょうか。

だからもっともっと美原の皆さんと一緒に勉強させていただいて、それを発信していかなくはないかなと私は思っております。

○堀内会長　　どうぞ。

○田中副会長　　今、何人かの方から発言ありまして、確かに美原区の区民そのものが、この美原区のことを知るといのは、しなければならないことだと思います。

しかし、美原区の黒姫山古墳を初めとしまして、区内の史跡は世界遺産に登録されておられません。

これから市では世界遺産に関連して藤井寺市、羽曳野市、堺市などが連携して何かされると思いますが、美原区が置いていかれないようにすることも大変大切かと思えます。

今後、堺市がどのように、この世界遺産をアピールして観光を発展されるかということ、できるだけ早く教えてもらいたいと思っております。

○堀内会長　　ありがとうございました。

美原区は歴史的な魅力はもちろんあると思いますが、それ以外の観点はどうでしょうか。

食べ物であったり、本当に生活していて便利であるとか、つまり観光客目線ではなく住民目線のもっといい面があるのではないかと思います、そういった観点からも何かありましたらお願いします。

○北中委員　　私は今41歳ですが私の前後の年齢の地元の人間と話す中で、せっかく良いまちで生まれ育ってもそのまま地元に住み続けられないということを聞きます。

規制のために家が建てられないとか、事情はいろいろあるとは思いますが、地元に住み続けられるような環境をつくる取り組みができれば良いと思っております。

○堀内会長　　ありがとうございます。今の北中委員の御意見も非常に重要な部分であり、いかに住み続けるか、それは住居もあると思いますが、職場との距離も多分関連してきますよね、きっと。はい、お願いします。

○吉村委員　　私は22年ほど前に引っ越してきました、友達から美原区って何かいいところなのって聞かれたときに、いや、別にこれとってお勧めするところはないとしか答えられ

ませんでした。

定年になってから、すずめ踊りのために美原区の福祉センターをお借りしている中で、結構年配の女性陣が活躍されていることに気が付きました。

ダンスやビリヤードをされていて、堺東の福祉会館と比べても美原区の福祉センターのほうが賑わっていると感じています。

しかし、美原区の他の施設では利用状況が少なく部屋が空いていることが多く、一部の団体しか使っていないことがあり、もったいないと思いますので何とかできないものかなということを考えました。

それとバスターミナルの横の区役所別館に、就園前の子どもさんが集まる教室みたいなものがありますが、あまり利用される方がいないということも聞いておりますので、有効利用できたらなとは思っております。

また、子どもや高校生、大学生、または若いファミリー層が美原区へ遊びに来るとしてもバーベキューができる舟渡池公園ぐらいしか、お伝えすることができないので、もう少し何かあればいいなと思っております。以上です。

○堀内会長      ありがとうございます。はい、お願いします。

○山田委員      今のこの諮問事項についての観点から申し上げますと、私は美原に愛着を持っておりますが、歴史的な神社仏閣にしてもどこか中途半端だと思っており、位置的にも堺と奈良間の通過点であり、何か目で見て五感に感じるものがないと厳しいと感じております。

百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録され堺市と藤井寺市、羽曳野市が連携していくと思いますが、美原区は少し位置が外れており、それを整理して堺市の大きな流れの中で連動していくことがまず大事なのではないかと思っております。

また、区役所周辺では、大型商業施設のららぽーとの開発が予定されており、防災センターも芋池のところにできます。

ですからそれは世界遺産、舟渡、ららぽーと、それと防災センター、それらを踏まえて、新しい五感に訴える何かを美原でつくり上げていくことも平行して行うことが大事ではないかと思っております。

○堀内会長      お願いします。

○米谷委員      この諮問事項の美原区における魅力の再評価と発信という点ですが、美原として具体的なものをどうするのかいうことを、もう少し絞っていかなければならないのではないかと思います。

美原町があちこち合併してできたということと同時に、生活圏は北が松原、西が初芝、平尾は富田林、交通や買い物もばらばらに分かれていたということで、何とか美原の格好をつくっていかないといけないということを書いてきたわけで、その中で、ららぽーとがようやく美原の核になって、この区役所を中心とした美原の核ができてくる。

それから世界遺産にせつかく百舌鳥と古市がなったが、美原が放っておかれる可能性があるわけで、前市長もよく言うておられたが、中間地点として黒姫山古墳をどのように生かすかを考えていかなければならない。

一つの考え方としては百舌鳥・古市古墳群をつなぐ緑道づくりが大事で自転車が通れる、歩けるような、東京都では井の頭公園から西武遊園まで10.5キロの緑道があり、堺市においても黒姫山古墳を中心に竹内街道を利用した百舌鳥と古市を結ぶ9キロの緑道を作る。

また、黒姫山古墳は文化庁の管轄なので創建当時の葺石にすることや上から観覧できる建物を建てるなども区民評議会から堺市に提案していくことを一度御検討していただけたらと思っております。

○堀内会長　ありがとうございます。ここまでで、美原区にお住まいの方たちに、実際の経験の中から意見を述べていただきましたが、私自身、松原におりまして、金田委員も、美原区とは別の場所でアートづくりをされていますので、その観点で何か言っていただけますでしょうか。

○金田委員　私は美原区について断片的に見聞きしているところから思ったことなのですが、歴史的価値がある地域に神社や古墳がありますが、それが点になっており線としてつながっていないのではないかと考えています。

距離などの物理的な意味もありますが、歴史的な流れや文化、農業などストーリーが見えないと感じています。

遊びに来る人が古墳や神社を単体で見に来ることはハードルが高く、その周辺にご飯が食べられる場所があるとか民芸品など歴史的なものを買えるとか、商業的にもつながっていかないと、外からこの点の一つずつの魅力だけで人を呼ぶというのは、結構難しいのかなと思います。

何かそういうストーリーとか物語とかをつくっていくことは大事かなと、また、その一つずつもすごい魅力が必要だと感じています。

先ほど黒姫山古墳の話で手を入れようと思えば入れられるという話を聞いて結構びっくりしましたが、であれば多分手を入れたほうが良いなと私もすごく思いました。

写真などで見ていると、木が生えているとしか見えず、やはり外から見ると分からないので、形が分かるとか、上から古墳の形を見られるなど歴史を知らない人でも楽しめる、景観

として楽しめるような手入れとかも基本的なことですけど必要なのかな感じたりしています。

○堀内会長　　ありがとうございました。今ここまでで、委員からいろいろな意見を言っていたいただきましたが、今、出てきた意見を私なりに整理しますと、多分論点は3つで、1つは、美原区には奈良と堺をつなぐいろいろな歴史や文化があるが、そのことを何よりも住民がよく知っていないこと。

2つ目に、実際住んでいて暮らしやすく、特に年配の女性が非常に活躍されているが、美原区の施設の中にはスペースの有効利用がなされていない場所があるということ。

3つ目が、美原区でも北と南とか西とかで生活拠点がばらばらで、ららぽーとができることをきっかけに全体をつなぐような、美原区全体を見渡せるような、そういう場所が必要であること。

そのときには、ただ歩くだけではなくて、いろいろな民芸品であるとか食べ物であるとか、横のつながりみたいなものをつくるようなことが必要であること。

多分この3つぐらいかなと思いますが、今以外の論点があるかもしれません。もしありましたら御指摘いただきたいのですが。はい、お願いします。

○高城委員　　先ほど食べ物屋さんがあったら良いよねとかいう話もありましたが、美原区は古代米をメインに「古代米プロジェクト」というのを10年近く前から興してきて、黒姫山古墳のすぐそばの田んぼで古代米を栽培しています。

それを美原の名産というか、物産として広げていきたいということで、もう既にまち歩き魅力発見マップの後ろに古代米を扱っていただいているレストランや、お餅、お酒などを掲載しています。

また、毎年古代米については、黒姫山の近くの田んぼで田植えと稲刈りを希望者参加のイベントとしてもやっておりますし、先日もこの調理室で古代米を使った親子のクッキングを実施し、美原の物産として広げていっています。

○堀内会長　　ありがとうございました。今の古代米の意見も踏まえまして、今いろいろと意見が出ましたが、それぞれの論点が出てくると思います。

次回以降、ある程度論点を絞る必要があると思いますが、こういう方向性で次回議論していったほうがいいのではないかという御意見ありましたらお願いしたいです。

一つの切り口から議論することで、ほかの論点もその中から整理されていくことがあると思います。はい、お願いします。

○田中副会長　　いろいろな御意見あると思いますが、諮問のところでも書いていますように、

世界遺産が認定されたのをきっかけに、いろいろな美原の良いところをわかってもらったらいいと思います。

文化遺産、黒山の黒姫山古墳などを含め堺全体と連動する形でアピールするのが良いのではないか、その切り口の中で、いろいろな食べ物も出てきますし、区民そのものが美原の文化を知ること出てくると思います。

百舌鳥・古市古墳群が世界遺産になり、それを中心に据えて議論していったほうが2年間で良いものがまとめられるので今がちょうど乗るときかなと言うのが私の意見です。

○堀内会長　　どうでしょう。今の副会長の意見、非常に良いと思いますし、もし委員の皆様方がそれで良いじゃないかということでありましたら、次回以降はこの百舌鳥・古市古墳群の間の黒姫山古墳や、それを通した情報の収集及び発信。その中で多分、緑道の話も出てくると思いますし、古代米の話も出てくると思いますし、住民の美原の理解についても出てくると思いますので、その方向性で議論をしていくということで行きたいと思います。

それでは、そういうことで御了承いただいたということで、ありがとうございました。

では次に、もう1個の案件、案件2「専門部会の設置について」に移ります。内容について、事務局より説明をお願いいたします。

## 案件2 専門部会の設置について

《事務局が「資料2 美原区区民評議会 交通問題専門部会委員構成案」により説明》

○堀内会長　　ありがとうございました。この件に関して御質問、御意見ありましたらお願いいたします。

この区民評議会から4名の委員が専門部会に入っていただくということで、大変だと思いますけども、よろしく願います。

どうでしょう。事務局案どおりのやり方で進めていっていただくということでよろしいでしょうか。

はい、願います。

○伯井委員　　各校区から当然詳しい方に来ていただくということで、例えば、私どもの丹上地区でしたら南阪奈道路から抜け道になるところで交通量が増えるため、通学路が危ないとか、個々の問題がありますが、そういう事を話し合う場ではないはずだと思うのです。

私の理解としては、このらば一とができることに踏まえて、美原区全体の交通網の話をするということだと思っております。



これを今の交通量の増加の諸問題と言ってしまうと、ここの道路が危ないとか、個々の道路の話になるような気がして、テーマをある程度、美原区全体の交通網というように最初にテーマを絞っておかないと話がそれてしまうおそれがあります。

この交通問題については去年の区民評議会で、ららぽーとと、その影響に伴う美原区全体の絵を描くための専門部会を作って議論しましょうという話だったと理解しておりますので、そこに制約かけないと収拾のつかないことに、陳情の場所みたいになってしまわないかなという心配をしております。

○堀内会長　　ありがとうございました。どうでしょう。今の伯井委員の御意見に従いまして、変えるべきなのか、変えないのか。はい、お願いします。

○米谷委員　　交通問題といっても、大きく分けて2つあると思うのです。

1つはららぽーとができる交通渋滞と通過交通問題。

もう1つは、バス交通をどうするのかということで、バスターミナルを中心として、ららぽーとがそれに対してどう対応していくのか。各駅にバスを出すとっているけれども本当にするものなのかどうか。

そうすれば、ここが一つの交通の結節点になるので、各地区からはバスをどうするか。

こういう全体の交通問題のことを論ずる、その2つがあるというふうに思うのですが、通過交通問題については、いろいろな箇所が出てくると思いますが、今も現実に困っているというところは、既に要望が出ている地域なので、各地区から勝手なことを言うのではなく、実態はどうだということを調べてみて、必要なところから整理していくので、個々の陳情のような場所にはならないと思っております。

○堀内会長　　お願いします。

○田中副会長　　伯井委員が言われたことはごもっともだと思うのですが、メインは、黒山の東西の開発があって、国道309号が大渋滞するということだと思います。

ただ大渋滞することによって当然、迂回路が自然とできますので、その迂回路にはいろいろな校区の人が関係するため、同時に聞いておかないといけないのではないのでしょうか。

ただ美原区としては、この大渋滞をどうするかという根本的なところはそう変わらないと思いますが、各校区にはいろいろな事情が出てくるので、優先順位をつけ解決できるところはしていくものだと私は思っています。

○堀内会長　　どうでしょう。伯井委員、今の御意見で。

○伯井委員　　はい。

○堀内会長　　それでは、いいですか。この資料2は原案どおりということで大丈夫ですか。  
（「はい」の声あり 承認を受ける。）

○堀内会長　　では、事務局の案のとおりで進めていただくということでお願いいたします。  
それでは本日の案件はこれで全て終了しました。  
ほかに何か御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

○田中副会長　　案件には載ってないのですが、事務局は大変だと思います。  
これから新しい諮問に対する答申に向けて区民評議会を運営しなければいけませんし、過去の答申の実現もしなければいけません。  
確か健康づくりの事業もあってどのように進めていかれるのか、人間的なものもあって大変だと思いますが、答申を受けたことに関してどうされるのかということも大事だと思いますので、よろしくお願いします。

○堀内会長　　あとは大丈夫ですか。  
それでは事務局に引き継ぎたいと思います。

○企画総務課妻谷　　それでは以上をもちまして、令和元年度第2回堺市美原区区民評議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。